



## 2019年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月5日

上場会社名 株式会社イルグルム (旧上場会社名 株式会社ロックオン) 上場取引所 東  
 コード番号 3690 URL https://www.yrglm.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岩田 進  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 赤澤 洋樹 (TEL) 03(3289)5051  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年9月期第3四半期の連結業績(2018年10月1日~2019年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第3四半期	1,637	23.4	33	—	28	—	△47	—
2018年9月期第3四半期	1,327	4.8	△82	—	△96	—	△69	—

(注) 包括利益 2019年9月期第3四半期 △49百万円(—%) 2018年9月期第3四半期 △70百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第3四半期	△7.45	—
2018年9月期第3四半期	△10.99	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第3四半期	2,109	1,048	49.7
2018年9月期	2,159	1,174	54.4

(参考) 自己資本 2019年9月期第3四半期 1,048百万円 2018年9月期 1,174百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年9月期	—	0.00	—		

(注) 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めており、配当方針としては期末配当の年1回を基本的な方針と定めております。現時点では2019年9月期業績に与える未確定な要素が多いため、2019年9月期の期末配当予想額は未定です。当該配当予想額が決定した時点で速やかに公表する予定です。

## 3. 2019年9月期の連結業績予想(2018年10月1日~2019年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	2,250	24.7	0	
	~2,350	~30.2	~50	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2019年9月期の連結業績予想については、レンジ形式により開示しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年9月期3Q	6,372,415株	2018年9月期	6,352,515株
② 期末自己株式数	2019年9月期3Q	81,155株	2018年9月期	983株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年9月期3Q	6,321,611株	2018年9月期3Q	6,334,076株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
（1）四半期連結貸借対照表	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（セグメント情報）	8
（重要な後発事象）	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループが事業を展開している国内のインターネット広告市場につきましては、スマートフォン広告、動画広告の継続的拡大に加え、アドテクノロジーの進化を背景にした運用型広告がインターネット広告市場全体を牽引、2018年のインターネット広告費は前年比116.5%の1兆7,589億円（㈱電通「2018年日本の広告費」）と5年連続で二桁増と引き続き高い成長を示すとともに、総広告費に占める媒体構成比も前年から3.3ポイント増の26.9%となり、広告市場のインターネットシフトのトレンドが続いております。

一方、当社グループのもう一つの対面市場であるEC市場につきましては、スマートフォンやタブレット端末の普及・進化に伴い企業のECビジネス展開が加速しており、2018年国内BtoC EC（消費者向け電子商取引）市場は前年比109.0%の18.0兆円まで拡大しております。また、全ての商取引に対する電子商取引の割合であるEC化率は、BtoC ECで前年比0.4ポイント増の6.2%と引き続き増加傾向にあり（いずれも経済産業省「平成30年我が国におけるデータ駆動型社会に係る基盤整備（電子商取引に関する市場調査）報告書」）、国内のEC市場規模拡大は継続しており、伸びしろが大いにある分野であります。

このような良好な事業環境の下、当社グループは、企業と顧客とのコミュニケーションを自動化・効率化する「マーケティングロボット事業」を自社事業領域と定め、引き続きその拡大に向け、人員強化を積極的に進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,637,889千円（前年同期比23.4%増）、営業利益は33,425千円（前年同期は82,270千円の営業損失）、経常利益は28,574千円（前年同期は96,700千円の経常損失）となりましたが、損害賠償請求訴訟に関する解決金60,000千円を特別損失へ計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は47,124千円（前年同期は69,639千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、2019年8月1日に、当社は商号を「株式会社ロックオン」から「株式会社イルグルム（英語表記：YRGLM Inc.）」に変更いたしました。来年には創業20周年の節目を迎えますが、第2の創業期とも言える大きな節目に先立ち、自社の提供価値と目指すゴールを再確認し、更なる飛躍を目指すべく、その決意を新社名に込めました。

今後も、企業理念である「Impact On The World」の実現に向け、データとテクノロジーによって世界中の企業によるマーケティング活動を支援し、売り手と買い手の幸せをつくる企業を目指して邁進してまいります。

セグメント別の業績は以下のとおりとなりました。

#### （マーケティングプラットフォーム事業）

当事業は、マーケティングプラットフォーム「AD EBiS」を提供する事業であります。「AD EBiS」は広告効果測定システムを基盤としたマーケティング統合環境を提供するサブスクリプション型のサービスであり、広告効果測定市場において4年連続シェアNo.1（㈱アイ・ティ・アール「ITR Market View：メール/Webマーケティング市場2018-2019」広告効果測定市場：バンダー別売上金額シェア（2015～2018年度予測））を獲得しております。当事業では、データの蓄積を行う「センサー系」機能、AIの技術を用いて分析を行う「知能制御系」機能、分析結果を自動的に活用する「駆動系」機能、これら3階層の機能を備えるサービスを「マーケティングロボット」と定義し、人口減少・少子高齢化時代における企業のマーケティング活動に不可欠なサービスの開発を目指しております。

当第3四半期連結累計期間においては、運用型広告のデータ集約とレポート作成を自動化する「アドレポ」事業を株式会社EVERRISEより承継し、当社事業としてサービスを開始しております。さらに「アドレポ」を「AD EBiS」と連携させることで、デジタルマーケティング業務の自動化支援に取り組んでまいりました。

また、「AD EBiS」については、データ活用で導くデジタルマーケティングの成功をテーマに、メジャーアップデート「AD EBiS UPDATE 2019 Spring」を発表いたしました。データ連携の自動化と直感的なビジュアルでマーケティングの意思決定をサポートする各種機能を追加することで、データ分析と投資判断のさらなる効率化を実現させるものであり、「AD EBiS」利用促進に寄与することを期待しています。

その結果、売上高は1,453,204千円（前年同期比30.2%増）と増収になりました。また、サブスクリプション型ビジネスの基盤拡大のための人員採用や新規顧客獲得のための広告販促活動にも引き続き積極的に取り組みましたが、増収が奏功したことにより営業利益は12,070千円（前年同期は105,565千円の営業損失）となりました。

#### （商流プラットフォーム事業）

当事業は、EC構築のためのオープンプラットフォーム「EC-CUBE」を提供する事業であります。「EC-CUBE」はフリーミアムモデルのオープンソース・パッケージとして提供しており、EC事業者のインフラ整備や売上向上に貢献する一方、「EC-CUBE」と連携する各種サービス（決済代行等）の提供事業者からマージン収入を得るというエコシステムを構築しております。

当第3四半期連結累計期間においては、機能やパフォーマンス、セキュリティ等を大きく向上させた最新バージョン「EC-CUBE 4」を正式リリースするとともに、「EC-CUBE」の機能を拡充する各種プラグインのリリースにも取り組んでまいりました。また、このオープンソースの「EC-CUBE 4」を基盤としてクラウド環境で動作する「ec-cube.co」をSaaSとして提供開始いたしました。

また、2017年5月9日に公表したお知らせのとおり、EC受託開発事業（SOLUTION事業）については関連会社である株式会社ラジカルオプティ等へ事業移管を行っておりますが、前第3四半期連結累計期間においては、未だSOLUTION事業に係る売上高が19,357千円計上されています。

その結果、事業移管したSOLUTION事業分の減収により売上高は184,684千円（前年同期比12.6%減）となり、営業利益は21,355千円（前年同期比8.3%減）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### （資産）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ50,219千円減少し、2,109,245千円となりました。主な要因は、「アドレポ」事業の取得及び自社開発の進捗によりソフトウェアが92,134千円増加したことや、「アドレポ」事業の取得に伴いのれんが113,142千円増加したこと、サーバ機器増設により工具、器具及び備品が26,691千円増加した一方で、「アドレポ」事業取得対価200,000千円の支払や自己株式の取得による支出99,971千円等により現預金が404,258千円減少したこと等によるものであります。

#### （負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債については、前連結会計年度末と比べ76,505千円増加し、1,061,129千円となりました。主な要因は、約定返済により長期借入金が149,889千円減少した一方で、短期借入金が200,000千円増加したことによるものであります。

#### （純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産については、前連結会計年度末と比べ126,725千円減少し、1,048,116千円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失47,124千円の計上及び自己株式の取得99,971千円によるものですが、譲渡制限付株式の付与に伴う新株発行による資本金の増加11,293千円及び資本準備金の増加11,293千円により一部相殺されております。この結果、自己資本比率は49.7%（前連結会計年度末は54.4%）となりました。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2019年2月6日に発表いたしました通期連結業績予想の前提となる計画に大きな変動は生じていないことから、当該業績予想の修正はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,193,773	789,514
売掛金	262,950	283,914
前払費用	72,519	92,114
その他	26,356	26,472
貸倒引当金	△90	△240
流動資産合計	1,555,510	1,191,775
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	92,663	92,663
減価償却累計額	△59,204	△65,915
建物及び構築物 (純額)	33,459	26,747
工具、器具及び備品	182,913	209,604
減価償却累計額	△135,471	△155,437
工具、器具及び備品 (純額)	47,442	54,167
有形固定資産合計	80,901	80,915
無形固定資産		
商標権	—	2,979
ソフトウェア	300,102	392,236
ソフトウェア仮勘定	25,000	57,427
のれん	—	113,142
その他	46	46
無形固定資産合計	325,149	565,832
投資その他の資産		
投資有価証券	35,363	39,067
長期前払費用	30,050	31,040
繰延税金資産	40,579	104,780
差入保証金	91,442	95,349
保険積立金	468	483
その他	10,060	669
貸倒引当金	△10,060	△669
投資その他の資産合計	197,904	270,722
固定資産合計	603,955	917,470
資産合計	2,159,465	2,109,245

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	15,779	10,508
短期借入金	200,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	199,852	199,852
未払金	123,887	135,192
未払法人税等	7,628	15,454
預り金	38,175	43,252
賞与引当金	19,124	16,581
その他	367	9,537
流動負債合計	604,814	830,378
固定負債		
長期借入金	341,853	191,964
賞与引当金	556	1,386
資産除去債務	37,400	37,400
固定負債合計	379,809	230,750
負債合計	984,623	1,061,129
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	306,772	318,065
資本剰余金	296,750	308,043
利益剰余金	571,873	524,748
自己株式	△99	△100,071
株主資本合計	1,175,296	1,050,786
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△454	△2,670
その他の包括利益累計額合計	△454	△2,670
純資産合計	1,174,841	1,048,116
負債純資産合計	2,159,465	2,109,245

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2018年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年6月30日)
売上高	1,327,755	1,637,889
売上原価	439,667	498,981
売上総利益	888,088	1,138,908
販売費及び一般管理費	970,358	1,105,482
営業利益又は営業損失(△)	△82,270	33,425
営業外収益		
投資有価証券評価益	—	688
保険解約返戻金	3	7
講演料等収入	250	277
持分法による投資利益	—	3,015
その他	197	1,728
営業外収益合計	451	5,717
営業外費用		
支払利息	593	2,210
為替差損	1,994	549
持分法による投資損失	11,002	—
長期前払費用償却	—	7,409
その他	1,291	399
営業外費用合計	14,882	10,568
経常利益又は経常損失(△)	△96,700	28,574
特別損失		
訴訟関連損失	—	60,000
固定資産除却損	—	11,492
特別損失合計	—	71,492
税金等調整前四半期純損失(△)	△96,700	△42,918
法人税、住民税及び事業税	1,190	13,412
法人税等調整額	△28,251	△9,205
法人税等合計	△27,060	4,206
四半期純損失(△)	△69,639	△47,124
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△69,639	△47,124



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△69,639	△47,124
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△512	△2,215
その他の包括利益合計	△512	△2,215
四半期包括利益	△70,151	△49,340
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△70,151	△49,340
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

第3四半期連結累計期間において、譲渡制限付株式の発行により資本金及び資本準備金がそれぞれ11,293千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が318,065千円、資本剰余金が308,043千円となっております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	マーケティング プラットフォーム フォーム	商流プラットフォーム フォーム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,116,414	211,340	1,327,755	—	1,327,755
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,116,414	211,340	1,327,755	—	1,327,755
セグメント利益又は損失(△)	△105,565	23,295	△82,270	—	△82,270

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	マーケティング プラットフォーム フォーム	商流プラットフォーム フォーム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,453,204	184,684	1,637,889	—	1,637,889
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,453,204	184,684	1,637,889	—	1,637,889
セグメント利益	12,070	21,355	33,425	—	33,425

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「マーケティングプラットフォーム事業」セグメントにおいて、2018年10月1日付で株式会社EVERRISEよりアドレポ事業を吸収分割の方法により承継いたしました。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては113,142千円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。